

総合工学委員会 エネルギーと科学技術に関する分科会
ハイパワーレーザー技術と高エネルギー密度科学小委員会
(第 25 期・第 3 回)

議事要旨

日時：2021 年 11 月 15 日 15:00 - 17:00

会場：オンライン遠隔会議（主会場：大阪大学レーザー科学研究所）

出席者： 疇地 宏、犬竹 正明、兒玉 了祐、近藤 駿介、齋藤 公児、笹尾 真実子、松尾 由賀利、
三間 罔興、観山 正見、吉田 善章、和田 元、岩田 夏弥、大森 達夫、加藤 義章、河内
哲哉、小林 洋平、阪部 周二、野崎 光昭、宮寺 晴夫、米田 仁紀

議題 1：前回議事要旨確認

第 2 回小委員会の議事要旨および議事メモの確認がなされた。

議題 2：シンポジウム準備状況

2022 年 2 月 3 日に開催予定の日本学術会議公開シンポジウム「将来のエネルギー科学技術に向けたパワーレーザーと高エネルギー密度科学の役割と展望」の準備状況について、資料 2-1, 2-2 に基づき三間委員より説明があった。本シンポジウムは 10 月の日本学術会議幹事会において承認された旨も説明された。

総合討論の進行方針について話し合い、会場およびオンライン参加者からのコメントも広く取り入れ議論いただく方針で一致した。そのための時間割調整など具体策を話し合い、引き続き詳細の検討を進めることとなった。本シンポジウムの内容は、当日の質疑応答、およびコメントへの事後回答も含め、記録として公開できる形にすることが望ましいとの見解で一致した。委員から協賛学会の追加提案があり、検討を進めることとなった。

議題 3：タスクフォースについて

本小委員会で作成の検討を進めている報告書について、兒玉委員より資料 3-1 に基づきタスクフォースを中心とした活動計画の説明がなされ（議題 3.1）、続いて資料 3-2, 3-3 に基づき報告書素案と国内外の当該分野の動向について説明がなされた（議題 3.2）。

波及効果・広がり観の観点、日本のこれからの可能性についての言及が重要との議論があった。また、人材育成や技術開発の礎となる環境・体制整備も重要であり言及すべきとの意見があった。本日の議論を踏まえて素案を見直すとともに、タスクフォースを中心として草案作成を進めることとなった。

議題 4：その他

次回の第4回小委員会は1月中旬頃に開催し、議題3で挙げた意見・観点をもとに作成した報告書草案について議論すること、またそれを踏まえて議題2で扱ったシンポジウム準備の最終確認を行うこととなった。

配布資料

資料0. 名簿

資料1-1. 前回議事要旨

資料1-2. 前回議事メモ

資料2-1. シンポジウム趣意書

資料2-2. シンポジウム開催ポスター案

資料3-1. タスクフォース趣旨と活動計画

資料3-2. 報告書素案

資料3-3. パワーレーザーと高エネルギー密度科学に関する動向